



7月6日。臨時議会で所信表明する中川市長。

# 中川市政再スタート

## 中川市長の初登庁 と所信表明の概要

先の市長選において、多くの市民の皆様の温かいご支援を賜り再選されましたことは、誠に光栄の至りです。二期目となる今後は、より一層、市民の目線に立った市政運営に留意しなければと心を新たにするとともに、市長の職責の重さに改めて身の引き締まる思いであります。

一期目の私は、ふるさと加西を元気にするべく、行財政改革を進め、山積する諸課題を解決するため、1年9ヶ月余りの間、多くの改革に取り組んでまいりました。

多くの市民からは支持を頂戴しながら、議会からは、独断専行などご批判をいただきました。出直し選挙で再選を果たした今、反省すべき点は反省し、今後に生かしていきたいと考えております。

二期目においては、これまでの行財政改革の実績の上に、加西を再起動し、郷土の新時代を創造するべく、5万市民の福祉増進のため、一身を投げ打って市政改革に邁進する覚悟でありますので、どうか議員各位におかれましては、今後の市政運営に何卒ご理解とご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

さて、加西市の財政は大変厳しい状況ですが、財政が健全でなければ、全ての行政・施策を遂行することができません。財政状態の良し悪しによって、市民サービスの内容が自治体間で大きな格差が生じる時代です。また、市長の力量と才覚次第で、加西市の将来が大きく変わってまいります。地方分権の時代には、まさに市長の見識と手腕が問われているのです。

1期目では、将来に夢と希望の持てる加西市を創造するために、問題を先送りすることなく、高い志と使命感を持って、民間での経験を生かしながら、全力を傾注して改革・改善に取り組んでまいりました。その結果、数々の先駆的な改革、経営効率化、財政健全化など、

多くの成果を上げることができました。

しかし、これら多くの改革・改善は、決して私一人の力で進められたものではなく、市民の皆様のご理解、職員の協力と意識改革などがあってこそ成したもので、議員各位の更なるご理解ご支援を頂戴できれば、今後ともより一層大きな成果を生み出さうものと確信します。

### 二期目の市政運営の基本的スタンス

常に市民・納税者の立場で考え、シガラミなく行財政改革を進めてまいります。今後も「加西市の顔」として加西を内外に売り込みます。子供にツケを回さず、教育に重点を置きます。情報開示と説明責任を果たすとともに、対決ではなく対話・協調に留意するというものです。

### 二期目の公約

「改革マニフェスト」を着実に実行します。この改革項目が結実する時には、加西市は、全国に誇れる自治体として高い評価を受けることでしょうし、改革の具体的な成果が形となって現れ、定着するに従って、私の考え方や意図も更にご理解いただけるものと存じます。

### 具体的な施策

第一に「全国に誇れる魅力あるまち加西」の創造。環境と景観のまちづくりを進め、地産地消と加西ブランドの育成を図ります。ふるさとの文化や情報を発信し、加西から新しいライフスタイルを提案します。

次に、若者が夢を持ち、高齢者は生き甲斐を持って元気で長生きできるよう「生涯現役都市」を目指します。

若い世代の雇用を確保し、市内居住を促進します。加西病院の医師確保と経営強化に引き続き取り組むとともに、11月にも産科の分娩を再開させたいと考えています。福祉や介護支援を充実し、老後も安心して暮らせるまちにします。

3点目は、次代を担う人材の育成。老朽校舎や給食センターの建替えを早期に実施します。加西方式とも言うべき新たな教育を目指す新構想学校の創設に向けて、具体的な研究を進めるとともに、（仮称）学び館で市民力をアップします。

4点目は、市民負担の軽減。企業立地を促進したり、ふるさと再生基金などにより、歳入増を図るとともに、業務効率化などを通して、財源を捻出します。他方、コストを下げてサービスを向上できるような改革・改善に努めます。水道料金は既に庁内の検討チームで値下げを検討しておりますし、新婚世帯の住宅費補助などを実施して、若者も高齢者も定住でき、他都市の住民も住みたくなるような魅力あるまちに変えていきます。

最後、5点目は、透明性の高い市政の実現です。公会計導入や財政情報の開示などを通して、透明性の高い市政を実現します。市役所の内輪の論理ではなく、常に市民の目線で行財政改革に取り組む所存です。

私が進めてきた行財政改革は、今は苦しいかも知れませんが、明るい明日を築くための産みの苦しみです。市民の皆さんに「加西市に生まれ育って良かった、加